

## 令和6年度 第2回 学校運営協議会 概要

岡山県立倉敷琴浦高等支援学校

1 日 時 令和6年11月14日（木）

開会 13時30分 閉会 15時30分

2 場 所 岡山県立倉敷琴浦高等支援学校 会議室

3 出席者 委員 ／ 岩久保 高之 上田 剛久 重松 孝治 松浦 文夫  
田淵 真也 高見 晴寿

職員 ／ 教頭 西山 博之 事務長 立野 弥生  
主幹教諭 藤波 真樹（生徒課長）  
教諭 田中 梨紗（教務課長） 澱浦 光樹（進路課長）

4 会議の概要

（1）開会

（2）議事

- 各課の具体的な取り組みについて
  - ・具体的な学校経営目標・計画の中間評価について、説明をした。いじめの状況についても併せて説明した。
- 保護者・教員・生徒アンケート（後期）について
  - ・前期との比較や、それぞれのギャップを見られるように、項目をそろえていることを確認し、ご意見をいただいた。
- プロジェクト推進に向けた意見交換
  - ・魅力ある学校づくりに向け、3つの柱「地域型学習を取り入れていくこと」「カリキュラムを生活学習から教科別にすること」「自立活動を授業として行うこと」について説明し、ご意見をいただいた。

（3）質疑応答・意見交換

- ・教室の空気感が穏やかで、生徒が主役の授業になっていた。
- ・生徒が選択して自分の意志決定する機会があるのが良い。
- ・風通しの良い職場づくりを進めるに当たっては、早いうちに相談できるような管理職の雰囲気が大切である。
- ・全員で職場開拓をしているが、何気ない会話が職場開拓につながることがある。
- ・学校評価アンケートは、母数が少ないので結果が低くなりがちである。個別にどのような指導をしての結果か先生は把握しているので、自信をもって指導に取り組めていると思う。

（4）閉会